|  |  |
| --- | --- |
| 分野名 | マネジメント分野 |
| 目標 | １　ビジネスにおけるマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。２　ビジネスにおけるマネジメントに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。３　ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるマネジメントに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間数 | 学習活動 | 指導の留意点及び到達目標 |
| ２時間 | 【ＳＤＧｓとSociety5.0の理解】・講義（１時間）　ワークシートの基礎学習とYouTubeを用いてＳＤＧｓとSociety5.0を理解させるための講義を行う。・意見共有（１時間）　講義後、ケース教材を配付し、事前学習をさせる。ケースメソッドでの授業ではグループ意見共有実施後、全体の意見共有を行う。 | ・講義を実施後、ケース教材のアサインメントにて持続可能な世界を創り上げるための方策について考察する。・職業人に求められる倫理観とビジネスによる課題解決の必要性について理解している。・他者の意見から多面的・多角的にＳＤＧｓの目標を達成させる必要性を理解している。・ＳＤＧｓを自らの問題として捉え、解決する態度を身に付けている。 |
| ２時間 | 【東京ディズニーリゾートの４Ｐと４Ｃ】・個人ワーク（１時間）　ワークシートを配付し、東京ディズニーリゾートの経営状態について調べ、まとめる。ディズニーランドのビジネスモデルについて、ＡＡＲＲＲを用いて、情報を整理する。次回の授業までに事前学習をさせる。・グループワーク（１時間）　グループに分かれ、意見共有をしながら、ワークシートの４Ｐと４Ｃを考える。グループごとに発表する。 | ・東京ディズニーリゾートの経営状態について考察する。・ビジネスフレームワークのＡＡＲＲＲを用いて、情報整理能力を身に付ける。・ビジネスモデルの構造について理解する。・キャスト側とゲスト側のそれぞれの立場から考える必要性について理解している。・問題解決ミッションは、応用問題としてチャンレンジする。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間数 | 学習活動 | 指導の留意点及び到達目標 |
| ２時間 | 【企業戦略を学び、新たなテーマパークを企画しよう】・講義と個人ワーク（１時間）　ワークシートを配付し、グループワークでロジックツリーを用いたＰＢＬを実施する。・グループ発表（１時間）　ワークシートを用いて、グループワークで、ペイオフマトリクスを用いたＰＢＬを実施する。グループで意見共有をする。グループごとに発表する。 | ・「本能にぶっささる」をモットーに、森岡毅氏が手掛けたＵＳＪの経営回復の事例について考察する。・ビジネスフレームワークとして、ロジックツリーを用いて、情報整理能力を身に付ける。・未来のビジネスの在り方や、常識を破壊する思考の育成については必ず取り扱う。・グループワークで、ビジネスフレームワークとして、ペイオフマトリクスを用いる。・新たなテーマパークの企画をするために、ビジネスの目的に即した角度からプランを提案し、問題解決能力を身に付ける。・新たなアイデアの創出や、既存のものをリノベーションするなど、さまざまなアイデアが出ることが好ましい。・他者の発表から、ビジネスプランについて多面的・多角的に考察する。 |
| ２時間 | 【人口減少と地域ビジネス】・グループワーク（１時間）ワークシートを配付し、グループワークで特性要因図を用いたＰＢＬを実施する。・グループワーク、発表（１時間）　ワークシートを用いて、グループワークで、ブレーンストーミングを行う。　その後、ブレインライティングを用いたＰＢＬを実施する。グループ意見共有をする。グループごとに発表する。 | ・人口減少と地域ビジネスの問題を考察する。・事業継承や労働者不足などの問題を必ず取り扱う。また、自らが住む地域の資源や特徴を生かした街づくりについても必ず取り扱う。・ビジネスフレームワークとして、特性要因図を用いて、情報整理能力を身に付ける。・未来の街づくりという観点で、様々な角度から考察するため、ブレーンストーミングで、自由に意見を出し合う。・その意見を踏まえ、ビジネスフレームワークとして、ブレインライティングを用いる。前の人のアイデアを借りて、アイデアを広げることで、アイデアの量を重視したアイデア出しをする。どうしてもアイデアが出ない場合は、自分で考えたアイデアを記入してもよい。記入するアイデアを文章化し、なるべく主語・述語を入れるようにし、他の生徒が読んだ時に、意図を誤解されないようにする。・終盤になるほど、他の生徒のアイデアを読むのに時間がかかるが、あらかじめ設定した時間内での閃きを生かすようにする。・自らの問題として捉え、解決しようとする態度を身に付けている。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間数 | 学習活動 | 指導の留意点及び到達目標 |
| ２時間 | 【ビジネスで未来を作り出そう１】・グループワーク（１時間）　ワークシートを配付し、各グループ１つずつ課題を与える。次回の授業時間までの事前学習をさせる。・グループワーク、ジグソー学習（１時間）　ＰＥＳＴ分析を用いたＰＢＬを実施する。グループで意見共有をし、発表し、ジグソー学習をさせる。 | ・現代の課題について考察する。・各グループで課題に分かれ、その課題について情報整理をし、考察する。・ビジネスフレームワークとして、ＰＥＳＴ分析を用いる。与えられた課題が、４つの観点からどのような影響をもたらすか考察し、世の中全体の問題として分析する力を身に付ける。・他者の発表から、ビジネスプランについて多面的・多角的に考察する。 |
| ２時間 | 【ビジネスで未来を作り出そう２】・グループワーク（１時間）　ワークシートを配付し、各グループ１つずつ課題を与える。次回の授業時間までに事前学習をさせる。・グループワーク、ジグソー学習（１時間）　グループに分かれ、自らのアイデアを出し、「来るかもしれない未来」の姿から、今後「つくり出したい未来の姿」を考察する。グループで意見共有をし、発表し、ジグソー学習をさせる。 | ・未来のビジネスの在り方について考察する。・各グループで課題に分かれ、その課題について情報整理をし、考察する。・来るかもしれないビジネスの未来の姿だけではなく、つくるべき理想のビジネスの未来の姿を考察できるようにする。・他者の発表から、ビジネスプランについて多面的・多角的に考察する。 |
| ４時間 | 【ビジネスプレゼンテーション】・プレゼンテーションの準備（３時間）　地元企業について、ＳＤＧｓやSociety5.0、ＥＳＧ投資に向けたビジネスの活動について事例をまとめ、発表準備する。・プレゼンテーションの実践（１時間） | ・社会的課題を解決させる視点及び経済性の観点、経済効果に関する観点を必ずいれる。・論理的かつ簡潔に発表することができる。・メンバー全員が自身の役割を理解し、協働して取り組むことができる。・発表会を通じて、新たな課題を発見し、それを次の学びに生かそうとしている。 |